

## 【知事臨時記者会見】10月11日

### 10月補正予算額(一般会計)13.4億円

知事／18日の県議会に提出する8月豪雨災害関係の補正予算について説明する。

9月議会では、途中134.6億円を追加提案した。今回は、国に関する予算を提案する。

補正予算案は、13.4億円。

- 1) 被災商工業者に対する新たな支援 16.1億円(国費8.4億円 県費7.7億円)
- 2) 農業機械等の支援に対する予算の財源更正 △2.7億円(国費△4.2億円 県費1.5億円)

### 佐賀型商工業者再建補助金 12.7億円

県内全域の被災商工業者の復旧を支援する制度。

・武雄市と大町町

本来、本激に発動する「なりわい再建補助金」を、局激だが2年経たずの被災だったため国に申請し、ほぼ同等の支援が設定された。ほぼ同等とは、BCPを策定するという本県特有の要件がつけられている。しかし、現状復旧を上回る、防災機能向上を含めた復旧もできるようになっている。国には、現場の痛みに寄り添った支援をいただき感謝申し上げる。

・その他の地域

国の制度の支援の対象にならないので、県が同じ枠組みで事業立てし、再建補助金という形に仕立て直した。

- 補助率は、3/4
- 上限額は、3億円  
再度の被災、売上高20%以上減少、既往災害、復旧債務などの要件を満たす場合は、3億のうち1億円までは10/10の補助が受けられる。
- 要件は、保険への加入、  
BCP(災害など緊急事態発生時に事業の復旧・継続を図るための計画)の策定

### 補助金額の算定方法

被災による損害額から、保険の活用額を引いた額の3/4を補助する。上限は3億円だが、一定の要件を満たす場合は1億までを10/10の補助をする。

例えば、損害額5,000万円、保険の活用額3,000万円、補助対象2,000万円の場合。

通常は、3/4の1,500万円が補助額、自己負担は500万円。

要件を満たす場合、2,000万円が全額補助され、自己負担はゼロ。

補助金 3/4 の内訳は、武雄市・大町町は、国が 2/4、県が 1/4。ほかの地域は、全額県から。

#### 佐賀型商工業者BCP策定支援補助金 9,000 万円

BCP策定にも補助金をつくれた。補助率は 3/4、上限 75 万円。BCPの策定が再建補助金の要件になっているため支援し、将来に備えておく。

この補助率も再建補助金と同じく、武雄市・大町町は国の支援が入り、それ以外は県の単独支援。

#### 佐賀県事業継続力強化支援補助金 2.3 億円

県内全域の被災商工業者の防災対策を支援する制度。設備の嵩上げ、止水板の設置、排水ポンプの整備などが対象。補助率 2/3、上限 200 万円。

以上のように、事業者は保険と BCP 計画などで災害に備えること。県は、流域治水も含めて全力で対応していく。今回、国から特別に支援をいただき、心から感謝申し上げる。

#### 被災農業者の復旧を支援 △2.7 億円(国費△4.2 億円 県費 1.5 億円)

農林関係の区分は本激になり、被災農地・被災農道水路・被災林道復旧のための補助率の嵩上げを受けた。しかし、強い農業・担い手づくり総合支援交付金(被災農業者支援型)は適用されなかった。この交付金は、本激とは直接関係のない機械・設備系の補助金。2 年前の佐賀豪雨災害では適用になり、今回も適用を受けられると見込んでいた。しかし、適用されなかった。国の実施要綱から、全国で機械被害、設備被害が積み上がらなかったからだと思われる。

被災した事業者にとって、全国での被害の積み上げは関係ないこと。被災した農業機械等の復旧について県単独で支援する。補助率 3/10。

今回は、国との調整の中で修正した補正予算案を提示した。